

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際オートメカニク科) 令和8年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			オリエンテーション	・入学後の諸説明を行う	A1前	19.2	1	○			○		○		
○			一般教養A	JLPT資格の取得を目指して日本語力を向上させるための学習を行う	A1前	33.6	2	○			○		○		
○			一般教養B	JLPT資格の取得を目指して日本語力を向上させるための学習を行う	A1前	33.6	2	○			○		○		
○			一般教養C	JLPT資格の取得を目指して日本語力を向上させるための学習を行う	A1後	33.6	2	○			○		○		
○			一般教養D	JLPT資格の取得を目指して日本語力を向上させるための学習を行う	A1後	33.6	2	○			○		○		
○			自動車基礎	自動車の基本的な構造、構成部品を理解する。	A1前	49.6	3	○			○		○		
○			エンジン学科1	4ストローク1サイクルガソリンエンジンの構造、作動を理解する。	A1前	25.6	1	○			○		○		
○			シャシ学科1	1. 動力伝達装置の構成する各機構の構造、作動を理解する。 (クラッチ、マニュアルトランスミッション) 2. タイヤ、ホイールの構造、作動を理解する。	A1前	25.6	1	○			○		○		
○			電装学科1	1. 自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。 2. バッテリーの構造、機能、整備を理解する。	A1前	25.6	1	○			○		○		
○			エンジン学科2	1. 4ストローク1サイクルエンジンの構造、作動を理解する。 2. エンジンの電子制御装置の構造、作動を理解する。	A1後	49.6	3	○			○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際オートメカニク科) 令和8年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			シャシ学科2	ブレーキ装置を構成する各機構の構造、作動を理解する。	A1後	49.6	3	○			○		○		
○			電装学科2	1. 電気の基礎的な原理法則を理解する。 2. 始動装置の構造、作動を理解する。 3. 点火装置の構造、作動を理解する。	A1後	57.6	3	○			○		○		
○			車両取扱	自動車の構造を実車を用いて学習する	A1前	49.6	1			○	○		○		
○			計測ツール取扱	自動車の各部について、整備や測定に使用する工具について学ぶ	A1前	49.6	1			○	○		○		
○			エンジン実習1	1. エンジンの基本的な構造を学ぶために行う。 2. エンジンの分解、組み付け方法と、基本注意事項を学ぶために行う。 3. エンジン分解後の各部の測定方法、調整方法、良否判定を学ぶために行う。 4. 自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。	A1前	44.8	1			○	○		○		
○			シャシ実習1	1. 工作機械の操作及び危険を理解する。 2. ボルトの特徴を理解する。 3. 工作作業を通して、物の大切さを理解する。 4. 自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。	A1前	44.8	1			○	○		○		
○			車両実習1	1. 実習授業で車両を取り扱う方法と注意点を学び、実際のお客様さまの車両を取り扱うことへつなげる目的で行う。 2. ジャッキアップで作業する場合の作業方法、そのときの注意点を学ぶために行う。 3. タイヤ脱着の基本手順を学び、作業姿勢、工具選択の重要性を理解するために行う。 4. 自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。 5. リレー、複合スイッチの点検方法を学ぶ。	A1前	44.8	1			○	○		○		
○			エンジン実習2	1. エンジンの基本的な構造の復習と共にDOHCを学ぶために行う。 2. エンジンの分解、組み付け方法と、基本注意事項を学ぶために行う。 3. ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、シリンダゲージ等を使った測定を学ぶために行う。 4. エンジン分解後の各部の測定方法、調整方法、良否判定を学ぶために行う。 5. 半導体を理解する。	A1後	44.8	1			○	○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際オートメカニク科) 令和8年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			シャシ実習 2	1. 計測機器を使用し、クラッチの分解、組み立て、点検調整、が出来作動が理解できる。 2. クラッチのトラブルシューティングができる。 3. マニュアルトランスミッションの分解組み立てを理解し、機能と構造を理解する。 4. マニュアルトランスミッションの動力伝達と変速比の計算が出来る。 5. プロペラシャフトの構造、機能、構成部品の理解。	A 1 後	44.8	1			○	○		○		
○			車両実習 2	1. 実習授業で車両を取り扱う方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる。 2. リフトアップで作業する場合の作業方法、そのときの注意点を学ぶために行う。 3. ベルト、T/M, サスペンション脱着の基本手順を学び、作業姿勢、工具選択の重要性を理解するために行う。 4. 配線図の読み方を学ぶ。	A 1 後	44.8	1			○	○		○		
○			エンジン実習 3	1. ジーゼルエンジンの基本的な構造を学ぶために行う。 2. ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの構造の違いについて学ぶ。 3. ジーゼルエンジンの分解、組み付け方法と、基本注意事項を学ぶために行う。 4. ジーゼルエンジン分解後の各部の測定方法、調整方法、良否判定を学ぶために行う。 5. 点火装置の構成部品、構造を理解する。 6. スパークプラグの構造、種類を理解する。	A 1 後	52.8	1			○	○		○		
○			シャシ実習 3	1. FF車の構造、特徴を理解する。 2. トランスファの機能と構造を覚える。 3. ラックアンドピニオンの機能と構造を覚える。 4. パーフィールドジョイントの機能と構造を覚える。 5. 始動装置の構造、作動を理解する。 6. スターターモータの分解、組みつけができるようになる。 7. スターターモータの点検方法を学ぶ。	A 1 後	52.8	1			○	○		○		
○			車両実習 3	1. ドラムブレーキの分解、組み付け調整ができる。シューの残量 ホイールシリンダー分解、組み付け含む。 2. ディスクブレーキの分解、組み付け調整ができる。パット残量 キャリパーオーバーホール含む。 3. ディスクローター、ハブベアリングの測定又は、異常判定が出来る。 4. ブレークフルードの交換ができる。 5. 制動倍力装置の簡易点検ができる。 6. バッテリーの比重の測定方法が出来るようになる。	A 1 後	52.8	1			○	○		○		○
○			一般教養 2 A	JLPT N2合格のためのインプット完遂： N2レベルの重要機能語（文法）や高度な語彙・漢字を網羅し、正確な意味と用法を習得します。 文の組み立てと文章内文法の攻略： 単なる暗記にとどまらず、文の並び替え問題や、文章全体の流れ（談話のつながり）を意識して正しい文法を選択できる応用力を養います。 専門学校の講義理解へのリンク： 習得したN2文法や語彙を、自動車整備の教科書や講義に出てくる解説文の理解に役立てます。	A 2 前	33.6	2	○			○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際オートメカニク科) 令和8年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			一般教養 2 B	多様なテキストの速読・精読マスター：評論、解説文、ビジネス文書、複数資料の比較など、N2特有の長文を制限時間内に正確に読み解くテクニックを叩き込みます。 実戦的リスニングとメモ取り技術：聴解の「課題理解」「即時応答」「統合理解」に対応するため、ネイティブの自然なスピードに慣れ、要点を瞬時にメモする力を養います。 模擬試験による時間管理と弱点克服：31コマという豊富な時間を活かし、定期的な模試と個別フィードバックを繰り返して、本番での得点力を最大化します。	A 2 前	49.6	3	○			○		○		
○			一般教養 2 C	実習・工具・自動車構造の言語化：実習場や教科書で使われる専門用語（部品名、工具名、作業工程など）の正しい発音と意味を一致させます。 安全管理と指示受けの徹底：「～すること」「～してはならない」といった実習場での指示・警告表現を確実に聞き取り、事故を防ぐためのコミュニケーション力を養います。 作業報告の基礎：行った整備作業の内容や、確認した車両の状態を、教員やクラスメイトへ正確に口頭で報告する練習を行います。	A 2 前	33.6	2	○			○		○		
○			一般教養 2 D	日本での自立した生活力の向上：行政手続き、賃貸契約、医療機関の利用、税金や保険の仕組みなど、日本で暮らす上で必要な知識を日本語で理解します。 地域社会・近隣トラブルの防止：ゴミ出しのルール、自転車の運転マナー、夜間の騒音注意など、周囲と良好な関係を保つための一般常識を学びます。 時事ニュースを通じた社会理解：日本の新聞やネットニュースを読み解き、現代の日本社会で何が起きているのかを把握・議論する力を養います。	A 2 前	33.6	2	○			○		○		
○			エンジン学科 3	1. 燃料装置の構成、部品名称を説明できる。 2. 燃料装置の構成部品の役割、構造、作動を説明できる。 3. 吸排気装置の構成、部品名称を説明できる。 4. 吸排気装置の構成部品の役割、構造、作動を説明できる。 5. ガソリン・エンジンの燃焼方式、性能、燃焼を説明できる。 6. 国家試験に係るバルブタイミングの問題の説明ができる。 7. レシプロ・エンジンの構造、機能を説明できる。	A 2 前	49.6	3	○			○		○		
○			シャシ学科 3	動力伝達装置のオートマティクトランスミッションの構造、作動を理解する。 動力伝達装置のCVTの構造・作動を理解する。 アクスル及びサスペンション構造・機能を理解する。 ステアリング装置の構造・作動を理解する。 ホイールアライメントの種類・役割を理解する。	A 2 前	49.6	3	○			○		○		
○			エンジン学科 4	1. ガソリン・エンジン電子制御の構造、作動を理解する。 2. ジーゼル・エンジンの構造、作動を理解する。 3. ガソリン、ジーゼル・エンジンの吸排気装置の構造、作動を理解する。 4. ガソリン、ジーゼル・エンジンの点検、整備の考え方、方法を理解する。 5. ガソリン、ジーゼル・エンジンの故障探求の考え方、方法を理解する。 6. ジーゼル・エンジンの燃料装置の構造、作動を理解する。 7. ジーゼルエンジンの電気装置、予熱装置の構造、作動を理解する。	A 2 後	44.8	2	○			○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際オートメカニク科) 令和8年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			シャシ学科 4	動力伝達装置のオートマティクトランスミッションの構造・作動を理解する。 動力伝達装置のCVTの構造・作動を理解する。 アクスル及びサスペンション構造・機能を理解する。 ステアリング装置の構造・作動を理解する。 ホイールアライメントの種類・役割を理解する。	A 2 後	44.8	2	○			○		○		
○			電装学科 3	1. バッテリの機能を理解する。 2. 始動装置を理解させる。 3. 点火装置を理解させる。 4. エアコンディショナの構造、作動、整備を理解する。 5. 警報装置を理解させる 6. 充電装置を理解する。 7. 予熱装置を理解する。 8. 外部診断機を理解する。 9. 電気装置の配線を理解する。 10. 安全装置、付属装置を理解する。 11. OBDを理解する。 12. 計器を理解する。	A 2 後	25.6	1	○			○		○		
○			自動車法規	1. 自動車の道路運送車両法に関わる項目を理解する。 2. 国家2級試験法令問題を理解する。	A 2 後	20.8	1	○			○		○		
○			エンジン実習 4	1. エンジン構造を理解し、ネジや部品の良否判定ができる。 2. 液体ガスケットの施工ができる。 3. 水漏れの有無、箇所の検索ができる。 4. 整備要領書の内容を理解できる。	A 2 前	49.6	1			○	○		○		○
○			シャシ実習 4	1. 2輪特有の整備を身に付ける。 2. 2輪に必要なメンテナンスを身に付ける。 3. 4輪自動車エンジン脱着前に 2輪で必要な部分を学習する。 4. 工作作業で、工作機器の正しい使用法を身に着ける。	A 2 前	49.6	1			○	○		○		○
○			車両実習 4	・ 12ヶ月点検を確実に行うことができる ・ 点検機器を正確に取り扱うことができる。	A 2 前	49.6	1			○	○		○		○
○			エンジン実習 5	1. ガソリンエンジンの電子制御（噴射、スロットル、点火等）を理解する。 2. コンサルト（ダイアグノーシス）で自己診断、アクティブテスト等ができる。 3. コンサルトとサーキットテスタを使用して故障探求ができる。 4. エンジン補機類（スタータモータ、オルタネータ）が正しく安全に取り外し、取り付けができる。	A 2 前	44.8	1			○	○		○		○
○			シャシ実習 5	1. トルクコンバータの構造、作動、性能を理解させる 2. プラネタリギヤの構造、作動、計算を理解させる 3. ギヤユニットの構造、作動、点検を理解させる 4. 油圧制御の概要、変速制御の仕組みを理解させる 5. 無段階自動変速機（CVT）の仕組みを理解させる	A 2 前	44.8	1			○	○		○		○
○			車両実習 5	1. 実習授業で車両の取り扱い方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる目的で行う。 2. 重量物脱着を行う場合の作業方法、そのときの注意点を学ぶために行う。 3. 共同作業の大切さを学ぶために行う。 4. 繊細な作業、大胆な作業の判断を付けるために行う。	A 2 前	44.8	1			○	○		○		○
○			エンジン実習 6	1. エアコンサイクルを学ぶ。 2. エコガス回収、真空引き、チャージ方法を学ぶ。 3. オートエアコン自己診断を学ぶ。 4. プロアーマータ回路を学ぶ。 5. コンサルトが正しく取り扱えるができる。 6. コンサルトでデータモニタの数値が確認できる。	A 2 後	44.8	1			○	○		○		○

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際オートメカニク科) 令和8年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			シャシ実習 6	・サスペンションの構造、機能を理解する。 ・フロントサスペンション（ストラット型）の分解組み付けができる。 ・リヤサスペンション（トーションビーム型）の分解組み付けができる。	A 2 後	44.8	1			○	○		○		○
○			車両実習 6	1. 電気の回路図を読み取ることができる。 2. 不具合現象の確認からその回路を特定できる。 3. 故障診断器を使用し不具合箇所の絞り込みができる。 4. 測定結果から不具合部位の特定ができる。 5. 安全にドアレギュレーターの脱着ができる。	A 2 後	44.8	1			○	○		○		○
○			エンジン実習 7	1. 電動パワートレインの基礎知識を習得させる。 2. 低圧電気について理解させる。 3. 電動パワートレイン安全作業を理解させる。 4. 応急手当を習得させる。 5. リーフ、e-POWER、ハイブリットの基礎知識を理解させる。 6. エーミングを理解させる。	A 2 後	52.8	1			○	○		○		○
○			シャシ実習 7	1. 制動倍力装置の構造、作動を理解する。 2. エア・ブレーキの構造、作動を理解する。 3. 整備結果説明を理解する。 4. タイヤチェンジャー＆バルンサーの使用方法を理解する。 5. 電動パワーステアリングの構造、作動を理解する。	A 2 後	52.8	1			○	○		○		○
○			車両実習 7	・実習授業で車両の取り扱い方法と注意点を学び、実際のお客様さまの車両を取り扱うことへつなげる目的で行う。 ・法定2年点検を理解し実施できる。 ・正しく記録簿が記入できる。 ・検査ラインが使用できるようにする。	A 2 後	52.8	1			○	○		○		○
○			一般教養 3 A 1	日本のビジネスマナーの体得：挨拶、お辞儀、名刺交換、席次（上座・下座）、服装・身だしなみなど、社会人として信頼される基本動作を徹底的に身につけます。 履歴書・エントリーシート（ES）の完成：採用担当者に響く「自己PR」や「志望動機」を、文法ミスなく論理的に書き上げる力を養います。 面接試験の徹底対策：入退室のマナーから、定番質問・意地悪な質問への臨機応変な回答まで、模擬面接を繰り返して自信を持たせます。	A 3 前	60.8	4	○			○		○		
○			一般教養 3 A 2	ディーラーや整備工場でのリアルな会話：先輩整備士からの素早い指示（指示代名詞や業界の略語など）を正確に聞き取り、動く力を養います。 整備現場での問診・接客シミュレーション：来店されたお客様から車の不調（「変な音がする」「ブレーキの効きが悪い」など）を正確に聞き取るコミュニケーションを学びます。 作業指示書と引き継ぎの表現：チームで動く現場において、自分がどこまで作業したか、次の人にどう引き継ぐかを正確に伝える表現を習得します。	A 3 前	60.8	4	○			○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際オートメカニク科) 令和8年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			一般教養3B1	確実な電話応対スキルの習得：相手の社名・氏名の聞き取り、復唱、担当者への取り次ぎ、伝言の正確なメモなど、顔が見えない相手とのやり取りをマスターします。 社内コミュニケーション（ほうれんそう）：働く上での基本である「報告・連絡・相談（ホウレンソウ）」を、タイミングよく適切な敬語で行う習慣をつけます。 クッション言葉とアサーティブ表現：断る、お願いする、謝罪するなど、気まずい場面を円滑に乗り切るための大人の日本語表現を学びます。	A3前	60.8	4	○			○		○		
○			一般教養3B2	社内・社外メールの定型パターン：件名の付け方、時候の挨拶、宛名、結びの言葉など、失礼のないビジネスメールを迅速に書く力を養います。 報告書・議事録の作成：発生したトラブルの報告書や、会議の要点をまとめた議事録など、実務で求められる正確な文書作成の型を学びます。 FAXや送付状の書き方：現在も日本のビジネス現場で使われる資料送付の際のマナーと書式をマスターします。	A3前	60.8	4	○			○		○		
○			一般教養3C1	労働契約と権利・義務の理解：雇用契約書の見方、給与明細の内訳（基本給、手当、控除）、有給休暇の仕組みなど、自分の身を守る法律知識を学びます。 就業規則と職場のモラル：無断遅刻・欠席の厳禁、機密保持（会社の情報を外に漏らさない）、安全衛生規則の遵守など、働く上での絶対的なルールを理解します。 労働安全衛生と災害対策：現場でのヒヤリハット事例の共有方法や、万が一の労災（労働災害）発生時の手続きについて学びます。	A3後	60.8	4	○			○		○		
○			一般教養3C2	日本の自動車産業の構造理解：自動車メーカー、販売ディーラー、部品メーカー、独立系整備工場の関係性と、それぞれの役割を学びます。 業界のトレンドと未来予測：EV（電気自動車）の普及、自動運転技術、シェアリングサービスなど、現在の自動車業界が直面している変化を理解します。 基礎的な経済・ビジネス用語：利益、コスト、売上、顧客満足度（CS）など、社会人として知っておくべき基本的な経済の仕組みを学びます。	A3後	60.8	4	○			○		○		
○			一般教養3C3	顧客満足（CS）の意識改革：単に車を直すだけでなく、「安心・安全・満足を提供する」という日本のサービス業の考え方を学びます。 初期クレームへの適切な対応：お客様が怒っている時の傾聴の姿勢、不快にさせたことへの謝罪表現、事実関係の確認方法を習得します。 組織への報告と連携：クレームを自分一人で抱え込まず、正確に上司へ報告し、会社として対応するための連携スキルを身につけます。	A3後	60.8	4	○			○		○		
○			一般教養3D1	協調性と意見のすり合わせ：多様な価値観を持つメンバーと協力し、一つのゴール（課題解決）に向かって議論を進めるチームワークを体得します。 問題の発見と原因分析：職場や実習で起きる問題（例：作業効率が悪い、ミスが多い）に対し、「なぜ起きるのか」を論理的に分析する手法を学びます。 改善提案（カイゼン）の作成：トヨタの「カイゼン」に代表される、現場の無駄をなくすためのアイデアを日本語でまとめ、提案する力を養います。	A3後	60.8	4	○			○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 国際オートメカニク科) 令和8年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			一般教養3D2	論理的なプレゼン構成の作成：「結論・理由・具体例・結論（PREP法）」を用いて、聞き手に伝わりやすい発表の組み立て方を学びます。 視覚資料（スライド）のデザイン：グラフや図を効果的に使い、文字ばかりにならない分かりやすいプレゼン資料の作成スキル（PC操作含む）を習得します。 堂々とした口頭発表の実践：適切な声の大きさ、視線（アイコンタクト）、ジェスチャーを意識し、大勢の前で自分の意見や整備実績を発表します。	A3後	60.8	4	○			○		○			
○			一般教養3D3	職場の「飲みニケーション」や年中行事：忘年会・新年会、歓送迎会でのマナーや、日本の伝統行事（お正月、お盆など）を通じた同僚との交流方法を学びます。 異文化の壁を乗り越える工夫：自分が日本で働く上で感じるストレスや文化の違い（ギャップ）を客観的に捉え、どう適応していくかのセルフケアを学びます。 多文化共生社会の担い手としての意識：将来、後輩の留学生や外国籍の社員が入ってきたときに、架け橋として活躍できる視野の広さを養います。	A3後	60.8	4	○			○		○			
○			一般教養3D4	就職がゴールではなく、入社後の壁（リアリティショック）を乗り越え、昇格や資格取得（1級整備士や検査員など）を見据えて、モチベーションと心身の健康を自己管理（セルフマネジメント）できる能力を養います。	A3後	60.8	4	○			○		○			
○			整備応用	自動車整備士3級及び2級の内容について、総合的に復習する	A3前	68.8	4	○			○		○			
○			電装学科4	1. 予熱装置を理解する。 2. 外部診断機を理解する。 3. 電気装置の配線を理解する。 4. 安全装置、付属装置を理解する。 5. OBDを理解する。 6. 計器を理解する。	A3前	25.6	1	○			○		○			
○			自動車検査	1. 自動車の道路運送車両法及び道路運送車両法保安基準に関わる項目を理解する。	A3前	20.8	1	○			○		○			
○			車両実習8	1. 実習授業で車両の取り扱い方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる目的で行う。 2. 共同作業の大切さを学ぶために行う。 3. 繊細な作業、大胆な作業の判断を付けるために行う。 4. 点検作業に付帯する、定期点検部品の交換作業ができる。 5. サーキットテストを用いて正確に測定ができるようになる。	A3前	49.6	1			○	○		○		○	
合計				60	2758.4 単位時間 (119 単位)											

※単位付与は令和8年入学生から

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1, 2, 3年次：学科は各期に二度、実習は各テーマ終了後に試験を実施し、60点以上で履修とする。		1 学年の学期区分	2期
全ての教科において既定出席率を満たし、未履修がなければ卒業を認める。		1 学期の授業期間	25週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。